

赤十字の講習実施について

- 1 次の一覧表から、受講したい項目No. 等をお知らせください。
- 2 受講者10名以上で実施してください。
- 3 一覧記載の時間は、標準ですので、ご都合に合わせて加減できますが、少なくとも1時間は必要です。
- 4 原則として、1人の指導員を派遣します。(受講者数と内容により指導員派遣数に変更になることがあります。)
(指導員派遣料 4時間未満@4,000円/人)
- 5 教材費は、講習内容に応じて負担をお願いします。(教材費欄参照)
- 6 講習は、学科と実技を行いますので、実技ができる会場が必要です。
- 7 指導員派遣の都合上、開催希望日の3か月以上前にお申込みください。

赤十字防災セミナー「短期講習」一覧

No.	短期講習名	内容	標準時間数	準備物	教材費等
B1	災害への備え (講義形式)	防災や減災の考え方、地震・津波・風水害がもたらす様々な被害から、平時の備えの重要性を理解する。	1時間～	白板 プロジェクター スクリーン	「災害への備え」 (支部印刷対応)
B2	災害エスノグラフィー (グループワーク 含む)	被災した人々の視点で書き留められた読み物から、被害を追体験し、被災状況をイメージする。	2時間～	白板 プロジェクター スクリーン	
B3	災害図上訓練 (DIG) (グループワーク 含む)	地域の防災マップの作成を通じ、防災上の資源や危険性を把握し、個人や地域の防災意識を高める。	2時間～	白板 プロジェクター スクリーン	
B4	応急手当 (救急法のFA1・FA2を中心とした内容です。B1～B3と組み合わせて実施します。)	身近なものを用いた応急手当をはじめ、一次救命処置(心肺蘇生、AEDを用いた除細動等)を学ぶ。	2時間～		救急法FA1・FA2に準ずる ※救急法以外の短期講習との組み合わせをご希望の場合は講習係にご相談ください。

○防災セミナー 活用例

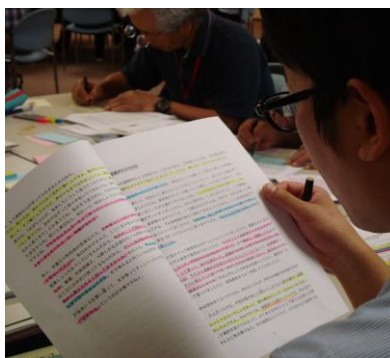
地域コミュニティ(自治会・老人クラブ・民生委員等)、地域の防災訓練、学校の授業での講演等にご活用ください

- ・地域での会議等の後に、赤十字防災セミナーを組み合わせて実施するも可能です
- ・「災害への備え」(講義)+「災害図上訓練(DIG)」(グループワーク等)で組み合わせる
- ・「災害への備え」(講義)+「災害エスノグラフィー」(グループワーク等)で組み合わせる
- ・「災害図上訓練(DIG)」又は「災害エスノグラフィー」を単独で実施する

※組み合わせや実施時間等については救護課講習係にご相談ください。



△災害図上訓練(DIG)



△災害エスノグラフィー



△応急手当